

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4450
24年5月28日(火)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

各種調査について 調査結果のオープン化を求める

おはようございます。
先日、広島中央局など
全国4局で「受箱配達商
品の配達実態調査」が行
われました。
これは本社・集配企画
室が「受け箱投函を前提
とした郵便物などについ
て、実際にどの程度配達
されているか実態を把握
すること」を目的として
行ったものです。対象商
品はレターパックライト、
ゆうパケットで調査日に
対象商品を配達する社員
全員が対象でした。
調査結果はまだ聞いて
いませんが、調査内容は
①持ち出し通・個数②受
箱配達により配達完了し
た通・個数③対面配達に
より配達完了した通・個
数④不在持ち戻り通・個
数⑤その他配達できずに
持ち戻った通・個数、で
加えて②③④については
受け箱配達不可の理由も
報告するように求められ

ており、受箱配達商品の
配達の実態が把握できる
調査になっています。
会社は調査の意義につ
いて「郵便・物流事業の
成長に向けて、既存商
品・オペレーションにつ
いても見直しを行って
いるところ」「通配は、集配
オペレーションの大宗を
占めており、必要な見直
しを実施していくが、そ
のため1つの材料として
郵便受け箱へ配達する
商品について、実態を調
査します」としています。

今回の調査にはユニオンも賛成です。しかし受け箱配達が出来ずに対面配達になった場合及び不在持ち戻りとなった場合の所要時間のカウント方法が明らかになっておらず、調査の目的が受け箱配達率を明らかにするた
めだけなのか、本当にかかっている所要時間の明確化なのか不明です。



集配用二輪車への積載状況調査結果

区分	出発1回目 (午前)		出発2回目 (午後)	
	平均積載率	余席	平均積載率	余席
重量積載率	59,1%	24,5kg	39,9%	36,0kg
容積積載率	87,8%	6,1cm	77,3%	11,4cm

*「1100C・新型キャリアボックス」を仮定。容積の余席は、キャリアボックスに郵便物等が積まれていない部分の高さ

また調査内容に対しての意見もあります。例えば、宅配ボックスなど指定場所配達を行った場合は対面配達完了にカウントするとなっていますが、指定場所配達時の処理には不在で持ち戻る場合以上時間がかかります。また同じ対面配達でも、道路に面した住宅や事業所への配達と高層マンションなどで上層階まで対面配達に行く場合と同じカウントにされても、実際の配達にかかる所要時間が明らかに異なるのか疑問です。

今、郵便配達の現場では郵便物が減少する一方で、速達郵便物やレターパックプラスなど速達に準ずる配達を求められる商品が増加し、配達業務を複雑にしています。またゆうパケット類の増加に伴い、受箱に配達する商品で受け箱に入らず対面となる場面も増加しています。これら追跡郵便・荷物は会社が考えている以上に、配達及び入力など手間のかかる商品です。単純に郵便物が少ないから配達が早く終わる、或いは配達担当者数は少なく済む、ということはなくなっています。

調査を通じて、対象商品の配達に実際にどれくらいの時間がかかるかなど配達の実態を明らかにし、今後の要員配置計画に反映する必要があります。配達率を明らかにするためだけでなく誰も調査に協力したいとは言わないでしょう。

今回の調査のように本社は集配オペレーションの改善の為、多くの調査を行っていると言われます。昨年は「集配用二輪車へ

の積載状況調査」や「ク
ロネコDM便の持ち戻り
調査」などが行われまし
た。
しかし調査結果を一般
社員が目にすることはあ
りません。それどころか
調査対象局以外では調査
が行われている事さえ知
ることもありません。仮
に調査の結果、現状の配
達オペレーションで支障
はないということになっ
たとしても、調査の趣
旨・調査方法や調査結果
を公表（ポータルサイト
などで誰でも目にするこ
とが出来る状況に）する
べきだと考えます。



また今回の調査対象局は全国4局だけでした。地域特性に偏りの内容に選定したとのことですが、不十分だと思えます。大規模な調査が無理な場合は、調査情報だけでも各局に発信し、必要に応じて局独自で同様の調査を行い活用できるようにすることも求めます。



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望を全員の正社員化を。ゆせが、均等待遇、なげんご差別。ユニオンは労基法裁判に勝利を！